

ブラジルをイメージした駅舎が誕生！

9月16日（土）、小泉線 西小泉駅の新駅舎を使用開始！

～ブラジルを代表する鳥「トゥカーノ」をイメージした駅シンボルサインも掲出！～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、2017年3月より小泉線 西小泉駅（群馬県邑楽郡大泉町）の駅舎新設工事を進めていましたが、2017年9月16日（土）始発列車から使用を開始しました。

群馬県邑楽郡大泉町では、人口の約1割をブラジル人が占め、また、ブラジル料理の飲食店や雑貨店が多数あるブラジルタウンが形成されており、町全体がブラジルをはじめとする南米文化で活性化策を推進しています。そこでこのたび、小泉線 西小泉駅をブラジルの国旗に使われている「黄色」や「緑色」を使用したデザインの駅舎とすることでブラジルをイメージし、ブラジルタウンの玄関口としてお客さまをお迎えします。また、駅舎入口には、ブラジルを代表する鳥「トゥカーノ」をイメージした駅シンボルサインも掲出します。さらに、駅名看板については、日本語・英語・中国語・韓国語に加え、ブラジルの公用語であるポルトガル語と南米において主に使われているスペイン語を表記し、多くのお客さまがわかりやすくご利用いただけるようになります。

2018年3月頃には、駅舎と調和したデザインで大泉町が施工する公衆トイレも駅舎に併設されますのでお客さまの快適性が向上します。今後も当社では関係自治体と協力し、お客さまの利便性・快適性向上を図っていきます。

概要は下記のとおりです。



△西小泉駅新駅舎（左側）および大泉町公衆トイレ（イメージ）



△西小泉駅のシンボルサイン

小泉線 西小泉駅 新駅舎の概要について

- | | |
|------------|---------------------|
| (1) 使用開始日時 | 2017年9月16日（土）始発列車から |
| (2) 駅所在地 | 群馬県邑楽郡大泉町西小泉4-31-10 |
| (3) 延べ床面積 | 96.88㎡ |
| (4) 構造規模他 | 木造平屋建て（駅事務室他） |
| (5) 設計会社 | 株式会社オー・エヌ・オー大野設計 |
| (6) 施工会社 | 河本工業株式会社 |
| (7) 駅開業日 | 1941（昭和16）年12月1日 |

以上